

飛鳥資料館 平成三十年度 秋開特別展

よみがえる

飛鳥の工房

日韓の技術
交流を探る

平成三十年十月五日(金)から十二月二日(日)

月曜日休館(ただし十月八日(月祝)は開館し翌日を休館)

開館時間 午前九時から午後四時三十分 入館は四時まで

■主催 独立行政法人国立文化財機構

奈良文化財研究所飛鳥資料館

■後援 文化庁・近畿日本鉄道株式会社

■入館料 一般・個人二七〇円・団体一七〇円

大学生一三〇円・団体六〇円

高校生及び十八歳未満・六十五歳以上

(年齢のわかるものが必要)は無料

■交通 近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅からかめバス(周遊)

「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車、または近鉄

「石椏井駅から石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車

■イベント「古代の曲物に迫る」事前申込制

十一月九日(金)午後一時三十分から

奈良文化財研究所

飛鳥資料館



奈良県高市郡明日香村坂山1-1-1 電話074-414-0100

http://www.narunken.go.jp/asuka/
DESIGN BY RIFURITA PHOTO BY TINOUE



平成30年度 秋期特別展「よみがえる飛鳥の工房―日韓の技術交流を探る」

飛鳥寺の東南にあった近世の溜池「飛鳥池」の池底から、飛鳥時代の工房の遺跡が見つかったのは1991年のこと。その後、美術館建設に先立ち、奈良国立文化財研究所(当時)が発掘調査を行ったところ、さまざまな遺物や膨大な廃棄物層、多数の炉跡などが次々と見つかり、これまでに前例のない古代の総合工房遺跡であることがわかりました。出土した木簡からは、飛鳥池工房遺跡が飛鳥の宮廷や古代国家を物質面で支えた一大工房群であったと考えられます。

近年、韓国でも生産工房の調査が進み、飛鳥と百済におけるガラスの生産技術や金銀の加工技術、銅製品の鋳造技術などの類似性や親近性が明らかになりつつあります。

そこで、今回の展覧会では、飛鳥池工房遺跡出土品の中から、日韓の文化交流や技術交流の実態を示す金銀やガラス、銅製品などを中心にご紹介します。奈良文化財研究所が実施してきた発掘調査の中でも白眉と言ふべき飛鳥池工房遺跡の調査研究の成果と、日韓共同研究の成果をご覧ください。



飛鳥池工房で生産された富本銭の製作工程



飛鳥池工房遺跡出土品

■イベント「古代の曲物に迫る」

11月9日(金) 午後1時30分から

事前申込制(抽選)／定員15名／参加無料

飛鳥時代から現代まで使われる曲物。

その技術の詳細に迫るとともに、曲物の皮綴じ

技術をいかした簡単な作品をつくります。

<申込方法>

E-mailまたは往復はがきに以下の必要項目をご記入の上、「イベント参加希望」

と明記して、10月21日(日)までにお申込みください(往復はがきの場合は、当日消印有効)。

必要項目

①代表者の氏名・年齢 ②代表者の郵便番号・住所 ③代表者の電話番号

④その他の参加者の氏名・年齢(代表者を入れて2名まで申込できます)

*申込締切から、1週間程度で返信が届かない場合は、ご連絡ください。

*メール申込の方は、@nabunken.go.jpからのメールを受信できるように設定してください。

◆周辺地図



開館時間：午前9時から午後4時30分 入館は午後4時まで
月曜日休館(ただし10月8日(月・祝)は開館し翌平日を休館)

入館料：一般 [個人 270円 / 団体 170円] 大学生 [個人 130円 / 団体 60円]

高校生及び18才未満、65歳以上(年齢のわかるものが必要)は無料

交通：近鉄橿原神宮前駅・飛鳥駅から かめバス(周遊)「明日香奥山・飛鳥資料館西」下車、または近鉄・JR桜井駅から 石舞台行きバスで「飛鳥資料館」下車

駐車場：無料 普通車11台分(近くに有料駐車場あり)

奈良文化財研究所

飛鳥資料館

〒634-0102 奈良県高市郡明日香村奥山601

Tel: 0744-54-3561 Fax: 0744-54-3563

E-mail: info.shiryokan@nabunken.go.jp

http://www.nabunken.go.jp/asuka/

飛鳥資料館

検索